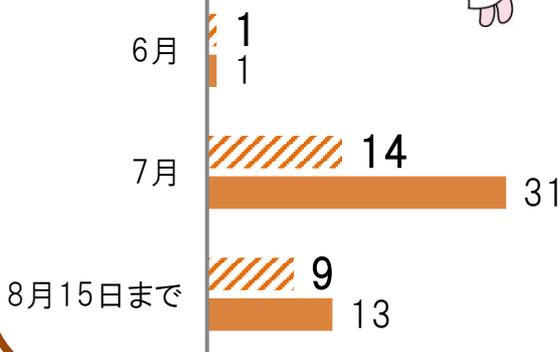


吉川市 熱中症出動件数

65歳以上 出動件数

7月には、熱中症が原因の死亡事故が起きているよ！



ここに注意！

「高齢者」の熱中症



1. その「服装」暑くないですか？

高齢者の方は、体温調整機能が落ちてくるため暑さを自覚しにくく、熱を逃がす体の反応や暑さ対策の行動が遅れがちです。長そで、長ズボン、何枚も着込んでいる方などは、気づかないうちに脱水症状になっていることがあります。

2. 「室内」の温度は適切ですか？

日差しのない室内でも、熱中症の危険はあります。扇風機だけを回していても部屋全体の温度は下がりません。冷房や除湿機を適度に利用し快適な環境で過ごせるようにしましょう。

3. 「水分補給」だけしていませんか？

熱中症予防には水分補給だけでなく、塩分補給も必須です。塩分タブレットや、飲料水を飲んで失われた塩分を補給しましょう。

残暑に油断大敵！

声かけで熱中症から高齢者を守ろう

とっっても暑かった今年の夏。それは「災害レベル」といわれるほどの暑さでした。吉川松伏消防組合管内の熱中症出動件数は8月15日現在、45件となっており、その内65歳以上の高齢者については、24件と半数以上を占めています。

まだまだ続く暑さ、もう暑さも和らいだと安心せずに予防を心がけましょう。特に高齢者の方は温度に対する感覚が弱くなるため、室内でも熱中症にかかりやすいといわれています。周りの人が体調をこまめに気かけ、予防対策を促してあげましょう。

熱中症参考サイト「熱中症ゼロへ」一般財団法人日本気象協会

見守りネットワーク協定事業所 No.3

そうごう薬局

Sougou Yakkyoku



市内4店舗、患者それぞれのニーズに合わせた「かかりつけ薬局」

■ あなたの健康と一緒に考えます

患者さんの健康への手助けができるように、お薬はもちろんのこと、各種健康相談会を開催し、地域医療に貢献しています。気軽に立ち寄って、健康相談ができる環境づくりに力をいれています。

■ 全スタッフ「認知症サポーター」

そうごう薬局では、全スタッフが認知症の講習を受け、「認知症サポーター」として認定されています。定期的な講習も行い、今後の高齢化社会で貢献できるようにスタッフ一人ひとりの能力向上を図っています。先日、店舗の前で途方に暮れている方に声かけし、地域福祉課に連絡して無事に家族のもとに帰られた事例がありました。今後もおせっかいとは考えずに不安な方への声かけをおこなっていきます。

Information

活用しよう！ コミュニケーションボード

「コミュニケーションボード」は障がいのある方や外国人など、話し言葉だけでは理解することが難しい人と周囲の人が分かりやすいイラストを指さしながら意志を伝えることが出来る道具です。

吉川市では、お店や駅など、地域の様々な場所に設置してコミュニケーションのバリアフリーを目指しています。



問い合わせ：障がい福祉課 障がい支援係
☎048-982-5238



自分は**大丈夫！**なんて思っていないませんか

落語で学ぶ 消費生活セミナー！

H31
1.27 sun

会場 吉川市民交流センターおあしす 多目的ホール

時間 13時30分～15時（開場13時から）

講師 たてかわ ひらりん
立川 平林

講演テーマ 防犯落語（悪質商法・ネットトラブル等の対策）

問い合わせ：商工課 消費労政係 ☎048-982-9697